

進捗状況の概要（1ページ以内）

【1】 事業推進体制の運営と地域キャリア形成支援の体制「円陣・ENGINEプラットフォーム」の構築

① 信州大学長を座長とする事業推進事務局として「ENGINE プログラム推進コンソーシアム」を継続的に開催し令和5年度第6回の会議では、長野県の総合戦略5ヵ年計画の見直しに合わせて目標値のアップデートを行った。各種ワーキング・グループ(WG)「ENGINE カリキュラム検討 WG」「ENGINE キャリア形成イベント WG」「ENGINE 広報戦略 WG」に加え、「産学協働人材評価 WG」を継続的に実施した。地域キャリア形成支援の体制として、大学・地域企業・自治体・プログラム受講生、さらに修了生からなるネットワーク組織「円陣・ENGINEプラットフォーム(PF)」を構築し(同窓会組織「円陣」に相当)、キャリア形成イベント「大しごとく」を契機として**自走化を試みている**。PFでは、授業や実践的な学びの機会(PBL(Project Based Learning)や課題解決型インターンシップ等)に必要な地域・企業の事業フィールドを提供する**企業会員を募り、マッチングする仕組みを整えた**。

【2】 教育プログラムの展開～3大学実践力強化フェーズ科目の実装と大学×企業による人材評価

① ENGINEプログラムを通じて地域変革と人材の好循環に向けたKGIを設定し、1.「社会」への影響(Social Impact):ENGINEプログラムの地域からの関心度/期待度 2.「企業」変革への寄与:ENGINEプログラムに関わった企業の体質変化 3.「大学」の体質変化:学生の大学(ENGINEプログラム)に対する愛着度向上の3つの視点を掲げた。金沢大学ではさらに、3大学のKGIを踏まえ独自の目標を設定し、事業の進捗管理を強化した。

② 授業設計/評価指標として開発・実装した「ENGINE ループリック」は、実践力強化フェーズで活用し、特に3大学協働科目・課題解決型「ENGINE インターンシップ」では、事前の目標設定、中間振り返り、事後評価において「企業と学生が評価指標を用いて共有する対話の時間」を設け、**大学と企業が協働し(同じ指標を用いて)、学生の学び・取組みを評価した**。プログラムの改善点は、大学と出口企業による「産学協働人材能力評価WG」において議論し、より精緻化された。

③ キャリア形成フェーズのイベントとして信大版・富山大版・金沢大版それぞれの「大しごとく」を開催した。今年度だけで**3地域で145社を超える企業の参画があった**。また、他大学の**大しごとくに参加する学生も募ることで、県域を越えて地域企業を知る取り組みが展開した**。

④ ENGINEプログラムのWeb上に共通の受講登録ページ・学修支援のシステム(**ENGINE LMS**)を**運用し、サーティフィケート発行までのプロセスを構築した**。授業での活用はもちろん、ポートフォリオの記録、アンケートの実施、事後評価コメントの収集などプログラムの運用・管理のための利用、3大学が連携して受講生をサポートする仕組みとして活用が進んだ。

【3】 外部評価の実施とプログラムへの反映

外部評価委員会を令和5年2月に開催し、これまでの取り組みを報告した中で「サーティフィケートの実効性、将来のリカレントニーズへの対応を高めるためのオープンバッジ(デジタル認証)などのDXの仕組み導入」について示唆を受け、検討を開始し第1期の修了生に対し各大学が連携して交付できる体制・仕組みを準備している。これらは、学内の他のプログラムともリンクし、全学的な波及効果にも繋がっている。

【4】 基幹産業をテーマとした企業との共同研究の展開

プログラムの自走化を支える手段として、**基幹産業に関わる地域・社会課題をテーマとした企業・自治体との共同研究が、本プログラムでの活動やネットワークから新たに生まれた**。社会インフラとしての森林資源や空き家の維持・活用をテーマとした活動や、次世代の地域公共交通や新たな観光の在り方を調査・検証する交通をテーマとした共同研究を実施した。本プログラムで繋がった3大学の学生が参加する地域交通に関するゼミも実施され、自治体や交通事業者と共に実証調査に取り組み、成果を学会等で発表するなど、授業の枠を超え、新たな連携の形も生み出されている。

【5】 主体的な情報発信と多様な学際交流の場で事例紹介することによる横展開

3大学共通のポータルサイト・各大学のサイトでは、相互にイベント企画や取り組みを紹介し、大学間での情報共有が進んだ。各大学のイベント情報を相互で閲覧することで、自大学以外のイベントにも学生が参加して交流を深めることに繋がった。特に富山大学が中心となって、広報誌「NEWS LETTER」を発行し、ENGINEの活動記事を掲載した。また、ENGINEの授業「地域のトップリーダーを繋ぐ」やインターンシップ、キャリア形成イベントにおける取り組みを逐次紹介する「ENGINE NEWS」を発行し、学内外への広報に努めた。**メディア掲載回数:3県域で13件(令和4年4月～令和5年9月末日)**